

(様式2)

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
1	学習活動重点 ①	目標	1 基礎・基本的知識や技能の理解と習得を図る。 2 自ら学び考える力を育成し、本校の教育目標の達成を目指す。
		計画	○オンライン研修やICT機器を利用して「分かる」授業や思考力・判断力・表現力を育てる「深い学び」を目指した授業改善に努める。 ○平日や週末課題の出題量を各教科間で調整し、時間を有効に使う提出できる量となるように配慮する。 ○学習時間調査などを通じて生徒の生活実態を把握し、面接により自主的な学習時間の確保を考え、家庭での過ごし方の見直しや個々の生徒に応じた学習指導を行う。
2	学校生活重点 ②	目標	1 健康に対する正しい知識や好ましい人間関係について理解させ、自らの心身の健康問題を解決できる能力と態度を育成する。 2 教育活動のあらゆる機会を通じて安全意識の向上に努め、災害の予防を図る。 3 公德心を高め、地域の環境を守り、地区の人々に信頼される生徒を育てる。 4 基本的生活習慣の確立に努め、よりよい校風と伝統を樹立する。 5 社会規範や交通安全への意識の高揚を図り、高校生としてのマナーや遵法精神を身につける。
		計画	○学校保健委員会の開催や「保健室だより」の発行により、健康保持や疾病予防のため、健康の自己管理について意識の向上を図る。 ○教育相談の充実を図り、不適応傾向がみられる生徒等に対して学年や保護者と連携をとり、早期に面談を行う。また、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーを招いて個別にカウンセリングを実施する。 ○さわやか運動や交通安全指導を通して、モラルや規範意識の向上を図るとともに、挨拶や対話を通して明るく活発な雰囲気をつくる。 ○学年集会での指導をはじめ、遅刻指導や服装指導など日常的な生活指導を全教員間の共通理解のもとで実施する。 ○基本的生活習慣や社会規範の遵守を啓蒙し、生活習慣の見直しをはじめとした面談指導等を全教員間の共通理解のもとで実施する。

項 目		目標・方針及び計画	
3	進路支援重点 ③	目標	1 自己理解と個性の伸長に努め、生き方・在り方を考えて将来の進路を選択できる主体的な能力や態度を育成する。
		計画	<p>○進路講話や講演会などを通してキャリア教育を実施し、自らの生き方や社会との関わりを考え、自己の将来の目標を主体的に考えさせる。</p> <p>○個別面接を実施し、生徒一人一人の学習への取り組みや進路志望・生活状況等について現状を把握し、助言を与えることで自ら考えて進路選択できる力を育てる。</p> <p>○教員間で連携を密に行い、進路についての情報交換や教科担当者からの面接を必要に応じて行う。</p> <p>○学校と家庭との連絡を密にし、保護者との連携を図る。</p> <p>○大学入試等の進学保証のために、教員の専門分野を考慮して、集中的に小論文対策の指導を全教員で指導する。</p>
4	特別活動重点 ④	目標	<p>1 学校行事や部活動、ボランティア活動などに自主的、積極的に取り組み、個性の伸張や調和のとれた人間性を育成するとともに、他者との連帯感や共同意識、社会の一員としての自覚と態度を育成する。</p> <p>2 成長期の体力の増進を図るため、部活動等を積極的に奨励し、心身ともにたくましい人間を育成する。</p> <p>3 「読む力」や「考える力」など、自ら学ぶ姿勢を身につけさせるとともに、読書を通じて生徒の心情を豊かにし、社会に対する問題意識を喚起し、思考力や豊かな教養を身につけた人間形成を目指す。</p>
		計画	<p>○よりよい環境のもとで充実した部活動が実施できるように、外部講師による指導を含めて指導体制を確立させ、施設・設備等の改善に努める。</p> <p>○コロナ禍において生徒の自主的・創造的な態度や能力を育成するために、学校行事、生徒会活動、ボランティア活動の内容を精選し、主体的に企画・運営できるように配慮する。</p> <p>○図書館便り「らいぶらりい」の発行や図書委員会の広報により読書への関心を深め、読書習慣の定着を図る。</p> <p>○テーマや図書選定を工夫することにより教養講座や読書会等への参加や関心を増やし、図書館の利用促進を図る。</p>
5	PTA 重点 ⑤	目標	1 P T A活動を活性化し、学校の教育活動との連携を深める。
		計画	<p>○学年やクラス、進路からの書面連絡や保護者会等を通じて保護者との連絡を密にし、家庭との連携を図る。</p> <p>○P T A主催の諸行事への参加率の増加を目指すとともに、P T A活動や同窓会活動をホームページに掲載し、広報活動を推進する。</p>